

# 摂関期古記録データベースについて

国際日本文化研究センター  
International Research Center for Japanese Studies

倉本 一宏  
(KURAMOTO Kazuhiro)



# 紫式部日記絵詞



# 土御門第故地



# 土御門第池



# 法成寺・土御門第模型



# 土御門第行幸模型



# 陽明文庫外観



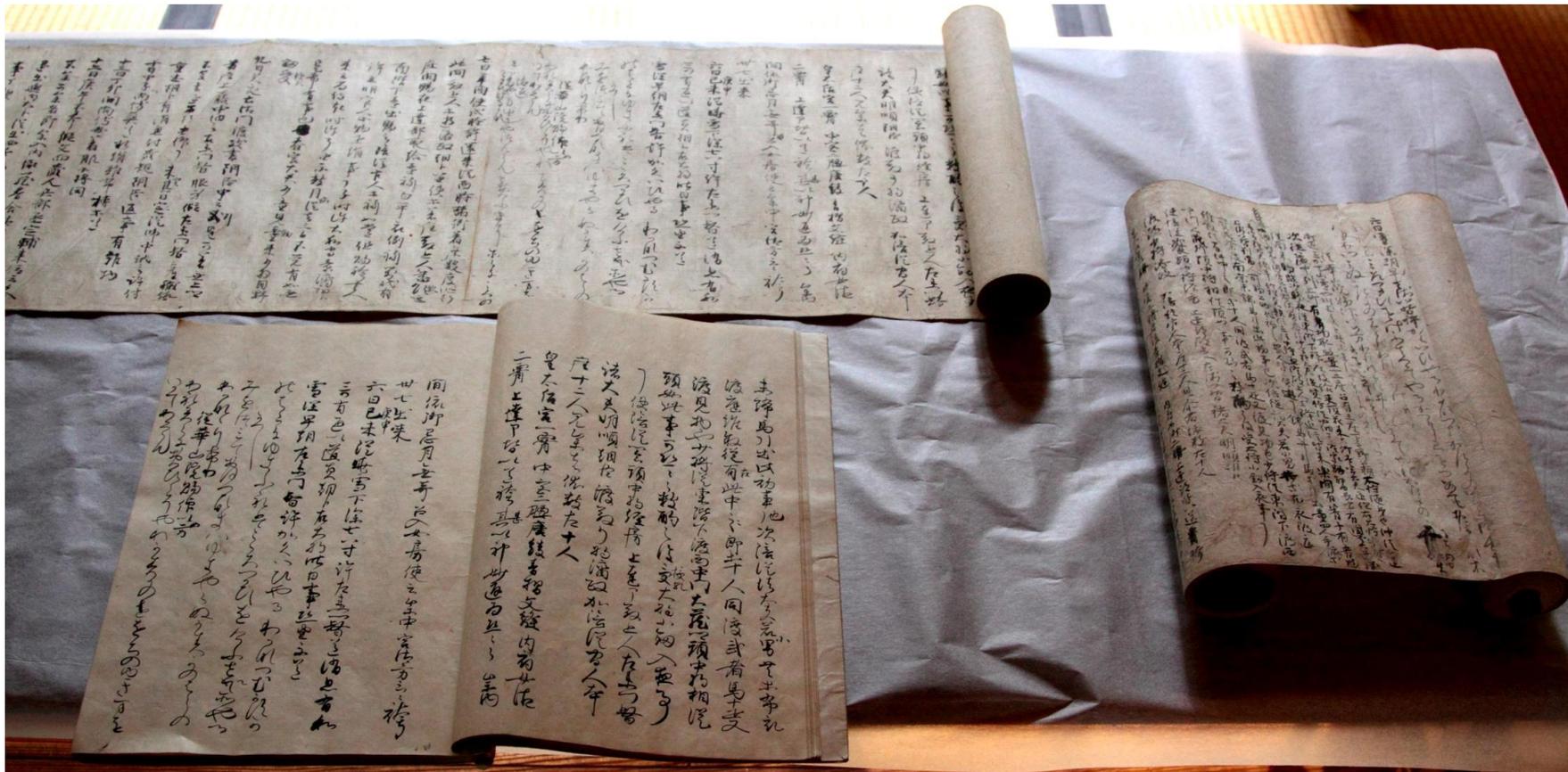
# 陽明文庫内部



# 『御堂関白記』自筆本



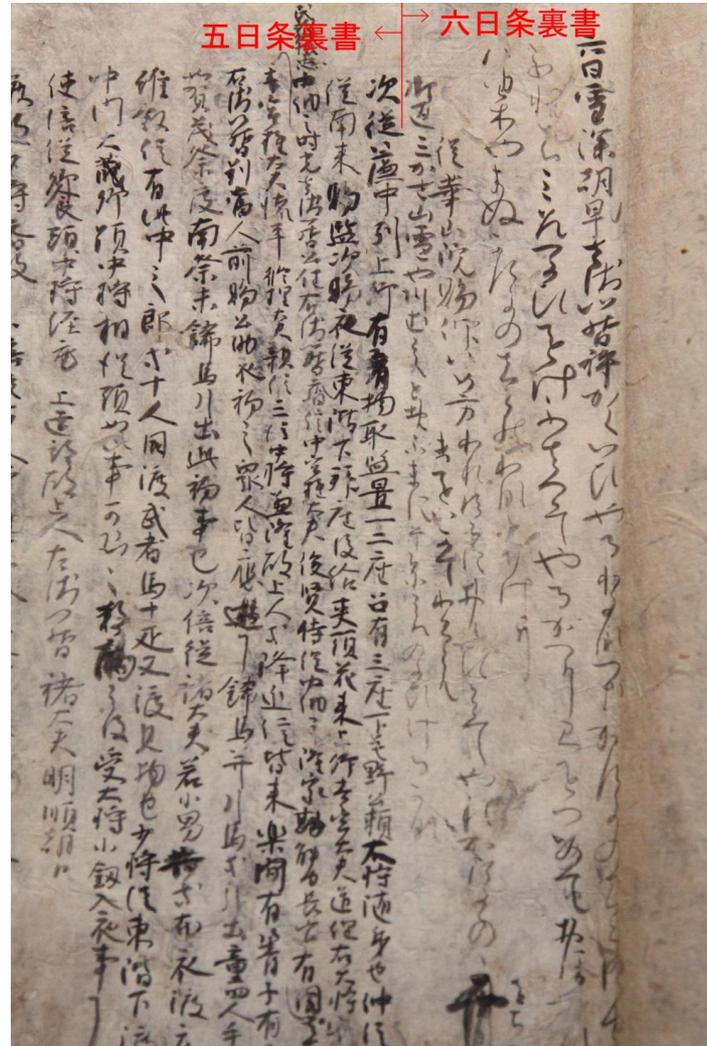
# 『御堂関白記』寛弘元年 (自筆本・古写本・予楽院本)



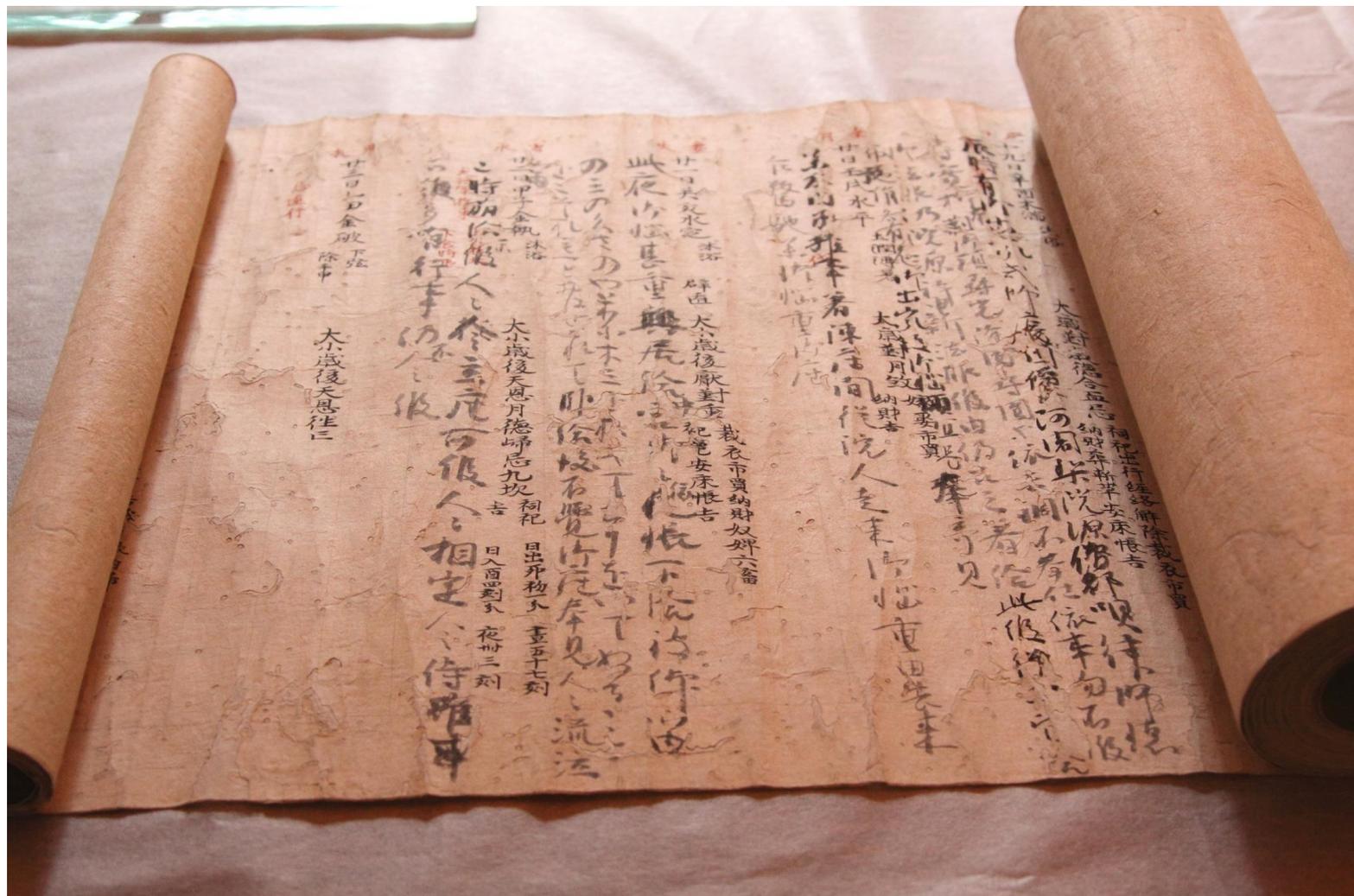
# 『御堂関白記』寛弘元年 二月五、六日表(白筆本)

五日己未火執  
 祭使頼通後批殿覆殿之帝前諸所後殿北面者祭使頼通來行午時御使行定  
 出衣更此間道員羽衣示紫内大侍使守望者及侍來此間述街下立元砌下大侍  
 有在殿中侍者大侍取面一庄之部仲行三庄大侍進後依邊南等子至階間  
 賜着在殿中侍之儀侍仲作存也由行大侍取瓶其次取八仲出返中拜上進付無勿  
 六日庚申木殿沐浴 使室内 大歳後復 瘧病解除壞垣  
 破屋告  
 二日 從岐雪下深六寸作大内之雪許運化也亦有物言有返道員御  
 石大將隊助也申送  
 七日辛酉木危沐浴 大歳後月德合 解除利頭壞垣破屋  
 陰服華斬草告  
 使式時許單來臣前時諸所者元敷度此間殿夫不雅俗政難也  
 使式者庄殿上人考飲立庄間賜祭上進許取給定祓白草衣御祓寫代有  
 下堂出賜之儀從中人所祓以常但除祓本拜立明中人所賜還須事了  
 不知守景浴胡台來云尚侍定時許夢由示初月病後云三日上覺有也  
 有山天中重日西義村用野御使  
 口日述内  
 内課

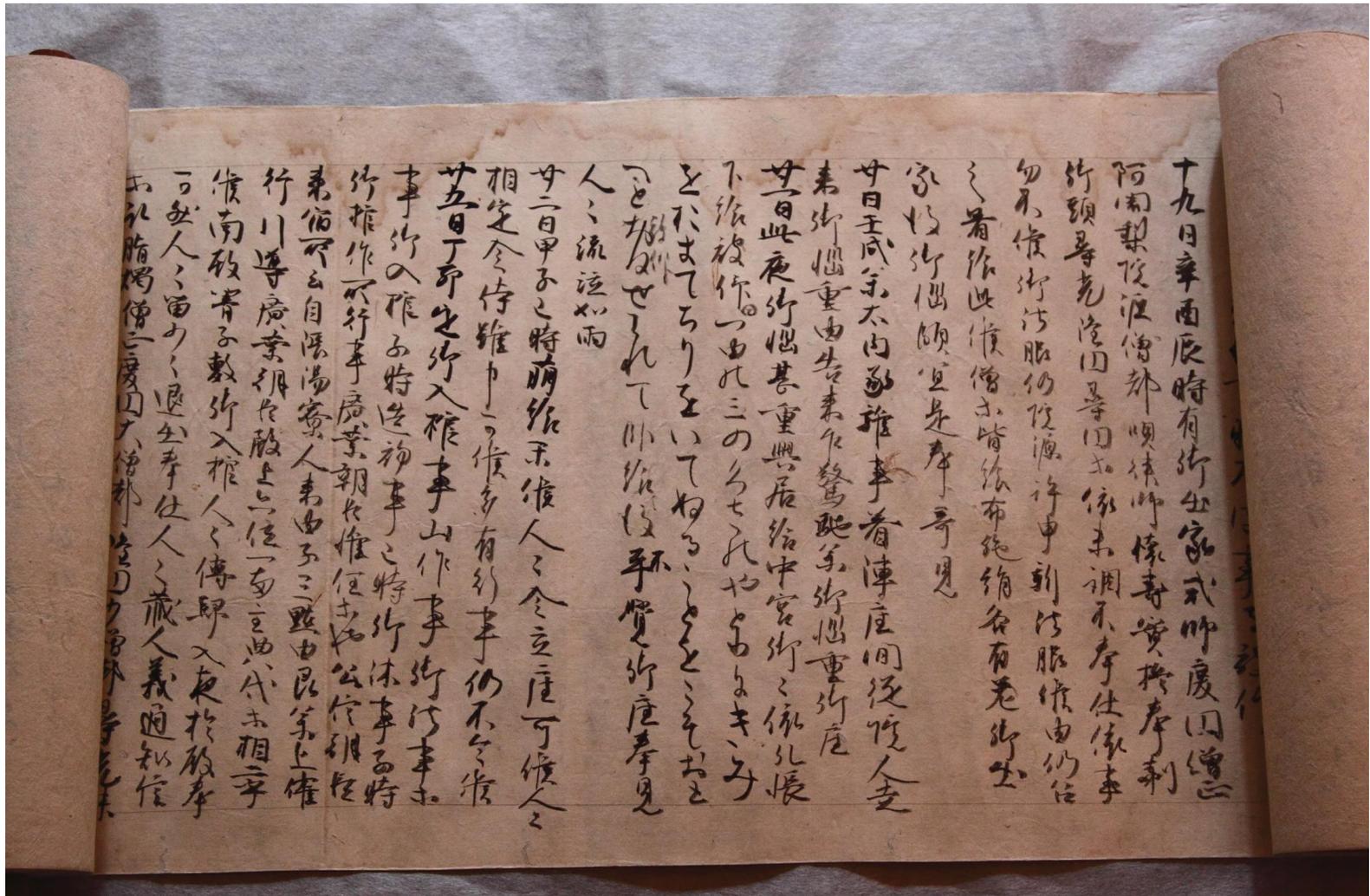
# 『御堂関白記』寛弘元年二月 五、六日裏(白筆本)



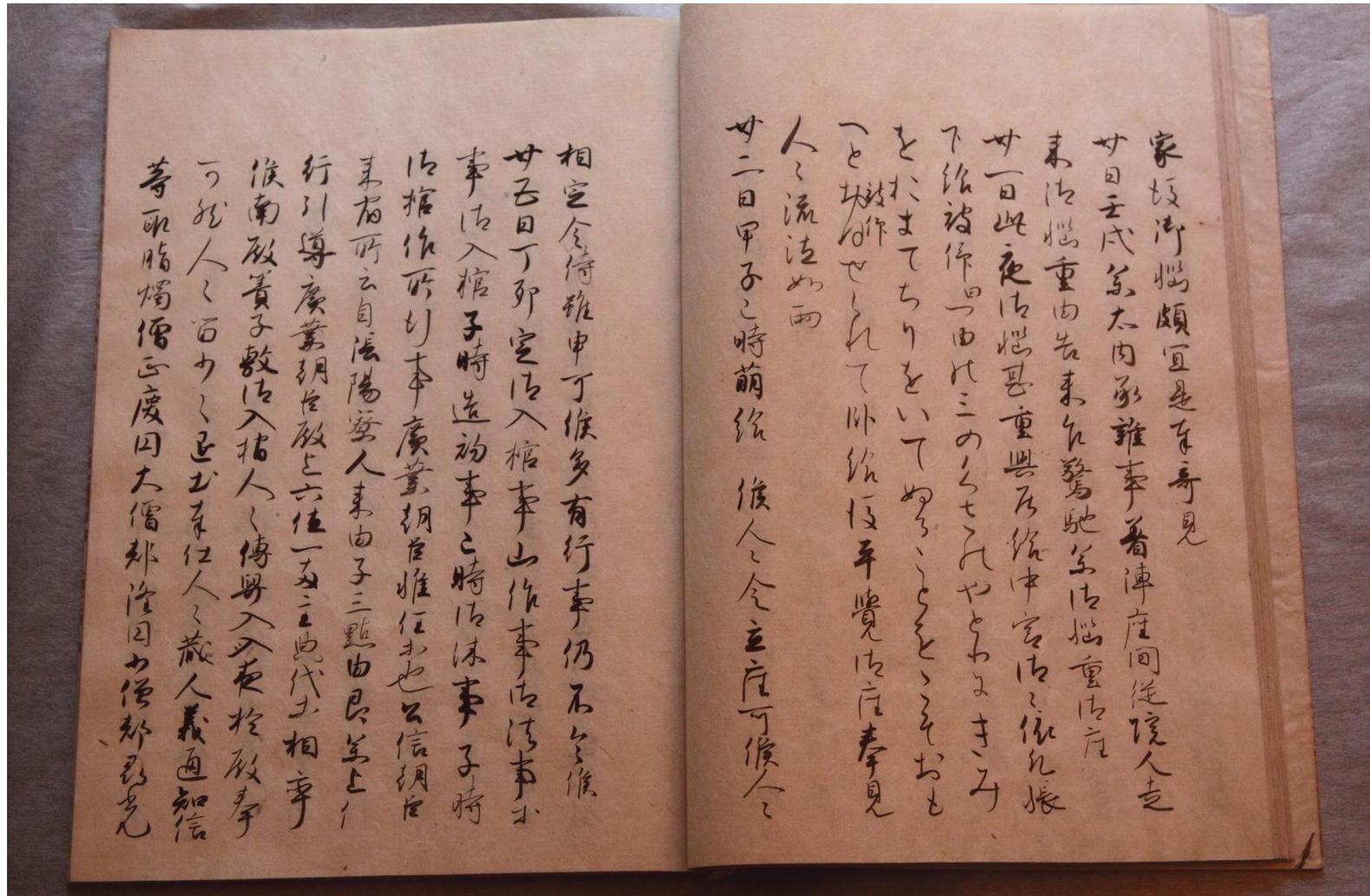
# 『御堂関白記』寛弘八年(自筆本)



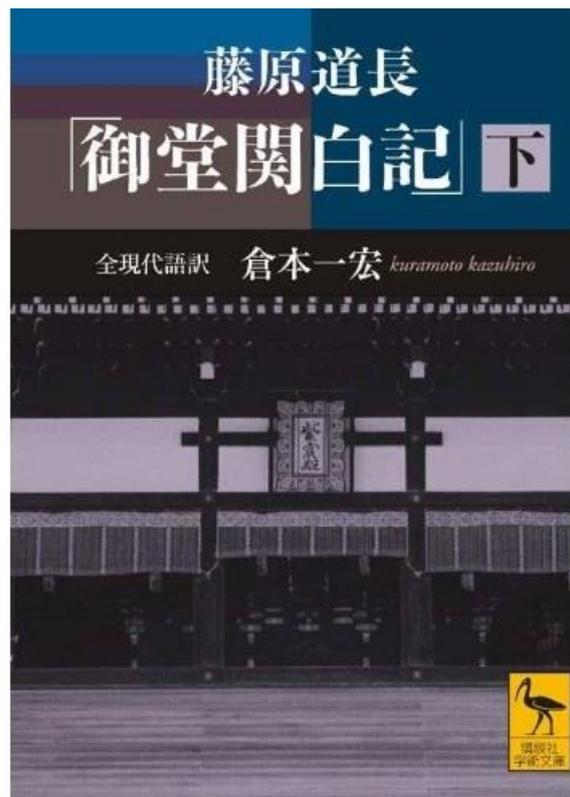
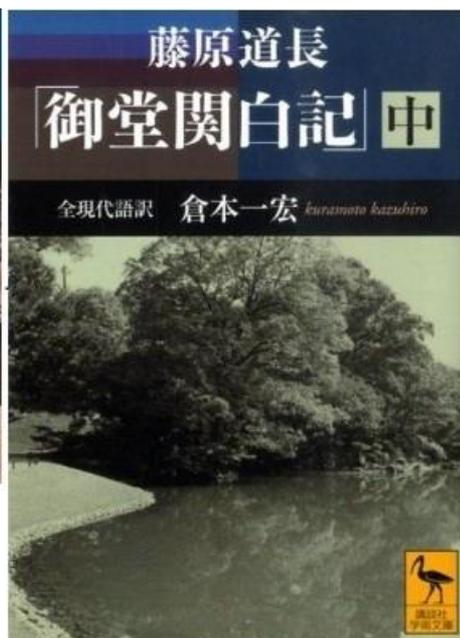
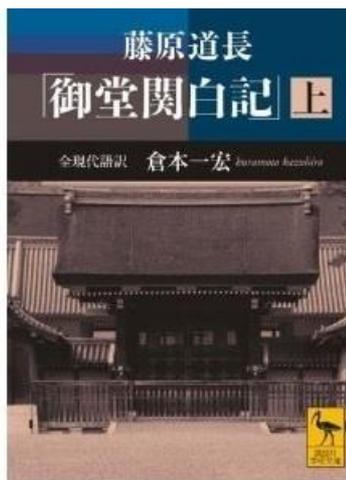
# 『御堂関白記』寛弘八年(古写本)



# 『御堂関白記』寛弘八年(予楽院本)



# 『藤原道長「御堂関白記」全現代語訳』



倉本 一宏

『藤原道長「御堂関白記」全現代語訳』

講談社学術文庫 2009 各 ¥1,350

# 藤原道長「御堂関白記」全現代語訳

73 寛弘元年二月

春日祭使は、戌剋の頃、枇杷殿に還つて来た。西剋から、諸卿は還饗に着座している。数度、盃を巡行した。この間、殿上人たちは、楽遊があった。済政朝臣が笛を吹いた。祭使たちは着座した。殿上人は、順に酒を飲んだ。彼らが座を立つた時に、衣を下賜した。公卿には、還祿を取つて下賜した。白の単衣であった。常の祿である。対屋の代わりは、南の階の下に有つた。ここでも還饗を賜つた。陪従の官人たちの祿は、常と同じであった。ただ

七日、辛酉。春日祭使還饗／藤原綏子薨去

三笠山雪や積むらんと思ふ間に空に心の通ひけるかな

(三笠山に雪が積もっているだろうと思つている間に、空に心が通つたことである)

私の返り事は、

その返り事は、

身をつみておぼつかなきは雪やまぬ春日の原の若菜なりけり

(身にしみて心許ないのは、雪がやまない春日の原の若菜であることよ)

花山院から仰せを賜つた。女房を遣わして贈られた。

我すらに思ひこそやれ春日野のをちの雪間をいかで分くらん

(我でさえも心配なことだ。春日野の遠い雪間をどのようにして分け入っているのであらう)

72

従つた。蔵人頭がこのような事をするのは、畏れ多い、畏れ多い。数酌の後、右大将に小釘を授けた。夜に入つて、出立の儀が終わつた。

祭使と陪従の饗は頭中将経房が奉仕した。公卿と殿上人の饗は左衛門督が奉仕した。諸大夫の饗は(高階)明順朝臣が奉仕した。

渡殿の饗は少将(源)済政が奉仕した。陪従の官人を饗の座に加えたのは十二人であつた。

参つた者は、数にしたがつて加えた。左が十人であつた。

皇太后宮(藤原遵子)から袴一腰が贈られた。中宮(藤原彰子)から袴二腰が贈られた。

唐綾の青摺の文縫のものである。内大臣(藤原公季)の女御(藤原義子)から袴二腰が贈

られた。公卿から皆、袴が贈られた。甚だ神妙なことである。かえつて畏れ多い、畏れ多

い。祭使が内裏に参つた際、故円融院の御忌月であつたので、歌笛は無かつた。女房(源

倫子)からの使を召し入れたところ、云つたことには、「これから中宮の御在所(飛香舎)

に参ります」と云つた。袴が三十七、やつて来た。

六日、庚申。藤原公任・花山院と和歌の贈答

暁方から雪が降つた。深さ七、八寸ほどであつた。左衛門督の許に書状を送つた。和歌を添

えた。返り事が来た。道貞朝臣を遣わして、右大将に昨日の参列の感謝を伝え送つた。

六日。雪が深い。早朝、左衛門督の許へこのように云つて送つた。

若菜摘む春日の原に雪降れば心遣ひを今日さへぞやる

(若菜を摘む春日の原に雪が降っているので、心配を今日、遣わしたことだ)

# 摂関期古記録データベース

The screenshot shows the website interface for the International Research Center for Japanese Studies. At the top right, there are links for 'Login', 'Mobile', and 'English'. The main header includes the center's logo and name in both Japanese and English, along with navigation links for 'アクセス' (Access), '申請書' (Application Form), 'サイトマップ' (Site Map), 'サイトポリシー' (Site Policy), and 'お問い合わせ' (Contact Us). A secondary navigation bar features icons for 'トピックス' (Topics), '研究' (Research), '出版' (Publication), '図書館' (Library), '催し物' (Events), and 'データベース' (Database). Below this, there are three main menu items: '日文研について' (About IJCS), '大学院教育' (Graduate Education), and '募集案内' (Recruitment Information). The main content area is divided into two columns. The left column has a vertical menu with colored buttons for 'トピックス' (orange), '研究' (purple), '出版' (blue), '図書館' (brown), '催し物' (yellow-green), and 'データベース' (red). The right column is titled 'お知らせ' (Notice) and contains a list of recent announcements with dates and brief descriptions. A vertical button on the far right edge says 'ページトップへ' (Back to Top).

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国際日本文化研究センター  
International Research Center for Japanese Studies

日本語 | English | 日本語

アクセス・申請書・サイトマップ・サイトポリシー・お問い合わせ

トピックス 研究 出版 図書館 催し物 データベース

日文研について 大学院教育 募集案内

トピックス

研究

出版

図書館

催し物

データベース

お知らせ

- 2013年8月14日  
【国内公募】共同研究とそれを組織する客員教員の公募要項について掲載しました
- 2013年8月26日  
シンポジウム『妙貞問答』の諸問題を2013年9月26日に開催します。(研究者向け・要申込み)
- 2013年8月28日  
学位論文公開発表会を8月28日(水)に開催します。
- 2013年9月6日  
第54回学術講演会を2013年9月6日に開催します。(一般の方対象)
- 2013年9月27日  
第一回EASJ日本会議 日文研シンポジウムを開催します。(研究者対象)
- 2013年10月31日  
大学院の入学試験説明会を10月31日(木)に開催します。
- 2013年8月8日  
パートタイム職員の募集要項について掲載しました。

ページトップへ

# 摂関期古記録データベース



大学共同利用機関法人 人文学研究機構  
**国際日本文化研究センター**  
International Research Center for Japanese Studies

アクセス・申請書・サイトマップ・サイトポリシー・お問い合わせ

**DATABASES**

文化は他者の存在がなければ  
 著作権は世帯の存在がなければ  
 著作権は世帯の存在がなければ

**お知らせ**

お知らせ一覧

日文研データベース一覧(50音順)

※はデータベースの利用申請が必要です。詳細は[利用手続きのご案内](#)ページへ。

**公開データベース**

WebGIS 日本全国 浮世絵芸術 絵巻物 艶本資料※ 於竹六日如来縁起絵巻 怪異・妖怪絵姿 怪異・妖怪画像 怪異・妖怪伝承 外像※ 家族史・人口史文献 貴重書	考古学GIS 古写真※ 古事類苑全文 古事類苑ページ検索システム 在外日本美術 所蔵地図 図録 米政回覧実記 西洋医学史古典文献(野間文庫) 摂関期古記録※ 宗田文庫図版資料 ちりめん本	長崎古地図※ 絵巻コレクション 錦絵観音霊験記の世界 日中歴史研究センター旧蔵書目録 日本関係欧文図書目録 日本語語彙研究文献 俳諧 風俗図会 平安京都名所図会 平安人物志 平安人物志福四帖	米国議会図書館所蔵浮世絵 米国議会図書館所蔵承応版源氏物語 米国議会図書館所蔵奈良絵本 平治物語絵巻「六波羅合戦の巻」 デジタル復元図 都年中行事画帖 民事判決原本※ ラージマップ - 高精細空中写真 WebGIS - 連歌 連歌連想語彙
--	---	---	---

# 摂関期古記録データベース

大学共同利用機関法人 人文学研究機構  
国際日本文化研究センター  
日文研 International Research Center for Japanese Studies

アクセス、申請書、サイトマップ、サイトポリシー、お問い合わせ

トピックス 研究 出版 図書館 催し物 データベース

**DATABASES** DATABASE TOP > 摂関期古記録

## 摂関期古記録

● 内容

平安時代中期(摂関期)に記された古記録全文の訓読文を順次データベース化していく。  
古記録の訓読はきわめて困難であるため、本データベースは訓読の断案というのではなく、一つの試案として公開する。  
藤原道長の『御堂閨白記』と藤原行成の『権記』を公開済(平成25年3月現在)。  
今後、『春記』『小右記』『左経記』と公開していく予定である。



凡例:

- a. 底本の誤字については、原則として文字を訂正して訓読を行なった。また、脱字や虫食いがある部分については、他の古記録や儀式書などによって、できる限り推定した。
- b. 脱字や虫食いがある部分で、文字を推定できない箇所については、文字数分を口で表示した。
- c. 裏書については、表の記載に続けて表記し、段落替えを行なった。
- d. 原則として、常用漢字表にある漢字は常用漢字体に改めた。
- e. 本文の註や割書は、<>の中に入れて区別した。
- f. 底本として、以下のものを用いた。
  - ・『御堂閨白記』  
大日本古記録(東京大学史料編纂所・陽明文庫編、岩波書店、1952~1954年)
  - ・『権記』  
史料集(渡辺直彦・厚谷和雄校訂、続群書類従完成会・八木書店、1978~1996年)
  - 増補史料大成(増補「史料大成」刊行会編、臨川書店、1965年)
  - 寛弘八年については増補史料大成を底本としたが、伏見宮本『行成御記』の原本調査を行なって校訂した。
  - 逸文については、主に『大日本史料 第二篇』(東京大学史料編纂所編、東京大学出版会、1928年~)を基にしたが、可能な限り原本調査を行なった(出典はそれぞれ明示してある)。
- g. 以下の書を参照した。  
『御堂閨白記』

# 摂関期古記録データベース

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

## 公開データベース利用申請

下記の項目を入力し、[次へ]ボタンをクリックしてください>(\*は必須項目です)。

[記入例](#)

氏名 *	<input type="text"/>
氏名(カナ)	<input type="text"/>
国名 *	日本 <input type="button" value="v"/>
職名等 *	<input type="text"/>
大学名/機関名 *	<input type="text"/>
学部名/部名	<input type="text"/>
学科名/課名	<input type="text"/>
所在地 *	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
電話番号 *	<input type="text"/>
メールアドレス *	<input type="text"/>
DB *	<input type="checkbox"/> 外像 <input type="checkbox"/> 古写真 <input type="checkbox"/> 長崎古地図 <input type="checkbox"/> 艶本資料 <input type="checkbox"/> 摂関期古記録
利用目的 *	<input type="text"/>
利用期限	2014/03/31

[メールアドレスをお持ちでない方へ](#)

国際日本文化研究センター 〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地

Copyright (c)2002- International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, Japan. All rights reserved.

# 摂関期古記録データベース

国際日本文化研究センター

摂関期古記録データベース



ユーザID

パスワード

国際日本文化研究センター 〒610-1192 京都市西京区御陵大狹山町3丁目2番地  
Copyright (c)2012- International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, Japan. All rights reserved.

# 摂関期古記録データベース

国際日本文化研究センター

摂関期古記録データベース



◆◆西暦年を表示するようにしました！！◆◆

ログアウト

キーワード

検索

クリア

※キーワードを空欄のまま「検索」をクリックすると、登録されている全件を表示します。

史料名

年月日 年 月 日 ~ 年 月 日

検索

クリア

※年月日の年には西暦や和暦の入力が可能です。(例:998、長徳四、長徳4)

国際日本文化研究センター 〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町5丁目2番地  
Copyright (c)2012 - International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, Japan. All rights reserved.

# 摂関期古記録データベース

国際日本文化研究センター

摂関期古記録データベース



## 検索結果一覧

[検索に戻る](#)

史料名	和暦年(西暦年) 月日	本文
御堂関白記	長保元年(999年) 二月二十日	二十日、甲辰。天晴る。諸社に奉幣の事有り。而るに夢想、宜しからざるに依りて参らず...>>>
御堂関白記	長保元年(999年) 六月三日	三日、甲寅。仁和寺の故大僧正の法事なり。仍りて僧前を送る。夢想、宜しからざるに依...>>>
御堂関白記	長保二年(1000年) 三月二十日	二十日、丁酉。院、石清水、并びに住吉に参り給ふ。今夜、石清水に宿し給ふ。賀茂の河...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 正月八日	八日、癸巳。慎しむ所有るに依りて、御齋会に参らず。人の夢想のみ。修理職に仰せ、御...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 六月五日	五日、戊午。巳時以前、雨降る。午後、天晴る。前僧正の許より、円観を以て消息あり。...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 七月十一日	十一日、癸巳。今朝、御夢みらる。「飲酒、御覽せりてへり。即ち奏して云はく、「雨...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 八月二十二日	二十二日、甲戌。右衛門督、示して云はく、「中宮、大原野に参り給ふ事、如何。『或る...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 十月六日	六日、丙戌。天晴る。内に参らんと欲する間、「人の夢想、宜しからず」てへれば、参ら...>>>
御堂関白記	寛弘四年(1007年) 正月二十三日	二十三日、辛酉。帥の許に示し送る。「今日、一品宮の御慶を奏すべき由、昨日、聞く。...>>>
御堂関白記	寛弘六年(1009年) 九月五日	五日、丙辰。雨降る。陣定せんと欲するに、雨下る内、人の夢想、聞かならざるに依りて...>>>
御堂関白記	寛弘八年(1011年) 十一月七日	七日、丙子。人の夢想有るに依り、物忌に籠居す。皇太后宮大夫、冷泉院の御齋会の事を...>>>
御堂関白記	長和元年(1012年) 五月一日	一日、戊辰。大内に参る。候宿す。右大将、相語りて云はく、「賀茂祭、触穢の事有り...>>>
御堂関白記	長和二年(1013年) 二月二十六日	二十六日、戊子。夜を通して雨降る。晩方、両度の夢想有り。終日、雨下る。申時、家の...>>>
御堂関白記	長和二年(1013年) 三月三日	三日、甲午。早朝、東宮に参る。「此の夜、小心惱氣御座す」と云々。而るに殊なる事、...>>>
御堂関白記	長和五年(1016年) 八月二十七日	二十七日、戊戌。夢想に依り、他行無し。院より、御心地、悩むを仰せらる。
御堂関白記	長和五年(1016年) 十月十二日	十二日、癸未。昨・今日、内の御物忌なり。夢想、静かならず、仍りて御誦講を修せしむ...>>>
御堂関白記	寛仁元年(1017年) 三月二十五日	二十五日、甲子。夢想、静かならざるに依りて、誦講せしむ。

国際日本文化研究センター 〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地  
Copyright (c)2012- International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, Japan. All rights reserved.

# 摂関期古記録データベース

国際日本文化研究センター

摂関期古記録データベース



## 検索結果一覧

[検索に戻る](#)

史料名	和暦年(西暦年) 月日	本文
御堂関白記	長保元年(999年) 二月二十日	二十日、甲辰。天晴る。諸社に奉幣の事有り。而るに <b>夢想</b> 、宜しからざるに依りて参らず...>>>
御堂関白記	長保元年(999年) 六月三日	三日、甲寅。仁和寺の故大僧正の法事なり。仍りて僧前を送る。 <b>夢想</b> 、宜しからざるに依...>>>
御堂関白記	長保二年(1000年) 三月二十日	二十日、丁酉。院、石清水、并ひに住吉に参り給ふ。今夜、石清水に宿し給ふ。賀茂の河...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 正月八日	八日、癸巳。慎しむ所有るに依りて、御齋会に参らず。人の <b>夢想</b> のみ。修理職に仰せ、御...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 六月五日	五日、戊午。巳時以前、雨降る。午後、天晴る。前僧正の許より、円觀を以て消息あり。...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 七月十一日	十一日、癸巳。今朝、 <b>御夢</b> みらる。「飲酒、御覽せり」てへり。即ち奏して云はく、「雨...>>>
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 八月二十二日	二十二日、甲戌。右衛門督、示して云はく、「中宮、大原野に参り給ふ事、如何。『或る者、 <b>夢想</b> の告げ有り』と云々。而るに今年、旱魃の事有り。仍りて参り給ふに於いては大事なり。故に停め給ふなり。占筮せしめ、一定すべし」てへり。即ち晴明・光宗等を召し、占筮せしむるに、「事の由を申され、延べらるるが吉なり」てへり。仍りて延引す。大宰推問使等、下向す。聞 <small>き</small> る
御堂関白記	寛弘元年(1004年) 十月六日	六日、丙戌。天晴る。内に参らんと欲する間、「人の <b>夢想</b> 、宜しからず」てへれば、参ら...>>>
御堂関白記	寛弘四年(1007年) 正月二十三日	二十三日、辛酉。帥の許に示し送る。「今日、一品宮の御慶を奏すべき由、昨日、聞 <small>き</small> く。...>>>
御堂関白記	寛弘六年(1009年) 九月五日	五日、丙辰。雨降る。陣定せんと欲するに、雨下る内、人の <b>夢想</b> 、聞かざるに依りて...>>>
御堂関白記	寛弘八年(1011年) 十一月七日	七日、丙子。人の <b>夢想</b> 有るに依り、物忌に籠居す。皇太后宮大夫、冷泉院の御齋会の事を...>>>
御堂関白記	長和元年(1012年) 五月一日	一日、戊辰。大内に参る。候宿す。右大将、相語りて云はく、「賀茂祭、触穢の事有り...>>>
御堂関白記	長和二年(1013年) 二月二十六日	二十六日、戊子。夜を直して雨降る。暁方、両度の <b>夢想</b> 有り。終日、雨下る。申時、家の...>>>
御堂関白記	長和二年(1013年) 三月三日	三日、甲午。早朝、東宮に参る。「此の夜、小心 <small>こころ</small> 悩氣御座す」と云々。而るに殊なる事、...>>>
御堂関白記	長和五年(1016年) 八月二十七日	二十七日、戊戌。 <b>夢想</b> に依り、他行無し。院より、御心地、悩むを仰せらる。
御堂関白記	長和五年(1016年) 十月十二日	十二日、癸未。昨・今日、内の御物忌なり。 <b>夢想</b> 、静かならず、仍りて御願誦を修せしむ...>>>
御堂関白記	寛仁元年(1017年) 三月二十五日	二十五日、甲子。 <b>夢想</b> 、静かなざるに依りて、願誦せしむ。

国際日本文化研究センター 〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地  
Copyright (c)2012- International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, Japan. All rights reserved.

ありがとうございました